

担い手農業者、新規参入希望者等との意見交換結果

会議等開催日時	場所	会議名	出席者	主な意見等	対応
平成27年6月5日	高知市	アグリマネージメントクラブ(日本農業法人協会高知県支部)総会	77名(うち法人経営者等46名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業法人等による施設園芸規模の拡大には、用地確保がネックになっている。規模拡大案件ごとに個別に対応してほしい。補助事業のスケジュールに対応できる受け手応募方法を検討してほしい。</li> <li>・重点地区、特に集落営農組織が法人化した地区での事業推進を加速してほしい。</li> <li>・就農初期に目標経営規模が達成できない理由として、農地や園芸施設の確保が困難なことが上がっている。農地の出し手確保に力をいれてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け手募集回数を年間3回から6回に改正(平成27年度第2回募集より)。</li> <li>・農地活用サポーター制度を施行(平成27年9月17日)。土佐清水市において、3名の委嘱を調整中。</li> </ul>
平成27年6月18日	四万十市	幡多地域新規就農支援ネットワーク協議会	34名(幡多地域の市町村、JA、農業振興センター職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点地区、特に集落営農組織が法人化した地区での事業推進を加速してほしい。</li> <li>・就農初期に目標経営規模が達成できない理由として、農地や園芸施設の確保が困難なことが上がっている。農地の出し手確保に力をいれてほしい。</li> </ul>	
平成27年7月21日	高知市	新規就農ネットワーク交流会	150名(就農希望者、新規就農者、認定新規就農者、担い手育成センター等研修機関、指導農業士他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点地区、特に集落営農組織が法人化した地区での事業推進を加速してほしい。</li> <li>・就農初期に目標経営規模が達成できない理由として、農地や園芸施設の確保が困難なことが上がっている。農地の出し手確保に力をいれてほしい。</li> </ul>	